

前高特ガイド

No.3 R2. 9. 3発行

～受検を考えている生徒さんと保護者、先生方へ～



通学が心配です。今までは徒歩で中学校に通ってました。進学するとしたら、電車になりそうです。きちんと乗り換えができるかどうか・・・。

本校の通学手段の内訳は
電車（31%）、自転車（27%）、バス（25%）、
保護者送迎（15%）、徒歩（2%）となっています。

ほとんどの生徒が中学生時代より長い時間や距離をかけて登下校しています。そのため、新年度始めには2週間かけて通学指導をし、駅やバス停まで一緒に歩いたり、自転車で追走したりして、安全な登下校ができるような支援をしています。

しかし、いつも先生や先輩と一緒にわけではありません。たとえ1人でも、不安なく登下校できるように入学までの通学練習や困ったときにどうするか家族で話し合っておく必要があります。



どうしても遅刻してしまいがち・・・遅刻が多すぎると進級できないとか、卒業できないとか、基準があるのでしょか？

本校では遅刻△回で進級できない、などの規定はありません。遅刻する時間を少しずつ縮めていって、だんだんと始業時刻に間に合うように、生活リズムの見直しや学校、クラスでの対応方法、授業での心配事への教育相談など支援していきます。

卒業すれば、ルールの中で生活することが社会人として求められます。遅刻はやはり避けたいものです。学校生活をきっかけに遅刻が減っていくことが目標ですね。



ホームページも見てください！
※QRコードはこちら！



前高特ガイドは、中学校卒業後の進路の悩みに寄り添える一助として、定期的に発行していきます。今回のテーマは・・・

学校見学で寄せられた Q&A です！



自分からコミュニケーションを取るのが苦手です。今のところ、同じ中学校からは他にいないくて、うちの子だけが前高特に進学希望のようなので、ひとりぼっちにならないか、心配です。

本校に進学してくる生徒のほとんどは、中学校から1人というパターンです。みんな、不安な気持ちは同じです。積極的なコミュニケーションがとれない、という部分も共通していますので、入学してしばらくは1年生の教室は「シーン」としています。

入学してすぐに授業が始まるわけではなく、1週間ほどオリエンテーションが続きます。学校の流れがつかめてくると、気持ちに余裕ができてきて、少しずつ同じクラスの生徒同士で話ができるようになってきます。また、登下校時に駅やバス停で先輩との関わりにより、陽気な(?)先輩の盛り上げにより、コミュニケーションが自然ととれてきます。部活動に所属すると、世界も広がります。行事をとおして、関わりが増えてくる、友達ができる、そんな生徒も多くなります。

まずは学校生活を安定して過ごす、そこが重要だと思います。



とにかくしゃべることが苦手です。授業見学では、作業の時に報告やあいさつをしっかりとっている先輩たちばかりで、うちの子がそんな風になれるのでしょうか？



入学してしばらくは、友達とも話せないのに先生に大きな声で報告する！などはとてもハードルが高いことです。ほとんどできません。見学の際に、ご覧になった先輩たちも、以前はモジモジ、オドオドして蚊の鳴くような声で報告などしてました。普段の学習に加えて、就業体験実習での集中した経験が重要なようです。

中には場面緘黙(かんもく)など、特性上話をするのが難しい生徒もいます。そのような場合は無理矢理大きな声を出させるなどの指導はしません。場面にに応じてカードを使ったり、筆談で伝えたり、コミュニケーションをとる方法を一緒に考えていながら、学習を進めていきます。

もっと聞きたい！教えてほしい！などなど・・・

本校の教育内容などについてご質問などある場合は、お電話でも受け付けています。学校見学についても随時応じていきますので、希望の日時をお知らせください。

